

図書館だより



図書館だより 2022 第3号
2022年12月16日発行
名寄市立大学図書館運営委員会
名寄市立大学図書館
〒096-8641
名寄市西4条北8丁目1番地



この本いいね！～2022年度大学図書館選書ツアー開催～

例年開催している、図書館の選書イベントも今年で11回目となりました。

通常、図書館で購入する図書は教員や図書館職員の選書によるものが多いのですが、この企画は授業や研究に必要な本、自分が読みたい本、友達に薦めたい本などを学生が自由に選び、本の内容を紹介するポップを自分が選書したものの中から1点以上作ってもらうというものです。



今年は7名の学生に参加いただき、図書館職員と一緒に
ジュンク堂書店旭川店で直接本を選んでもらいました。

選書の中には図書館職員も気づかなかった分野の本や
話題の本もあり、学生の目線で選んでもらうことで、利用者
の需要に即した蔵書構成にまた一歩近づけたかと思えます。

今回選書された93冊の本は、参加者の力作ポップと共に
図書館2階 漫画コーナー横の雲形テーブルに展示しています
ので、この機会に是非ご覧ください。



展示のお知らせ

『私の名前は宗谷本線』絵本原画展』

展示期間：11月24日(木)～2023年1月12日(木)

休館日：日・祝、12月29日(木)～1月3日(火) (年末年始休館)

展示会場：名寄市立大学図書館 2階・特設ギャラリー

開館時間：午前9時～午後9時 ※12月27日～28日、1月4日～7日は午後5時閉館です。

※観覧の場合は閉館30分前までにお越しください。



当館館長の堀川真先生(社会保育学科教授)が絵を手掛けられ、「第31回けんぶち絵本の里大賞」びばからす賞を受賞した絵本です。宗谷本線の沿線に位置する1960年代の名寄～箴島(おさしま)で子ども時代を過ごされた方々を

訪ねて聞き取りしたお話しがそのまま盛り込まれており、私たちのまわりにはたくさんのお話しがあると気づかせてくれる一冊となっています。

この機会に是非ご覧ください。



推薦図書コーナー

『野性の呼び声』ジャック・ロンドン著、深町眞理子訳 光文社

温暖なカリフォルニアから極寒の北国に樺犬として売り飛ばされた主人公の犬バックが
厳しい自然のなかで「野性」に目覚めていくという話です。

寒さの厳しい名寄の雪道を歩いていると、この小説の登場人物たちが
雪原を進んでいくときの苦しみと苦労が実感できます。

(教養教育部教授 小古間甚一)



<図書館3階開架に所蔵があります
請求記号：B933.7/L>

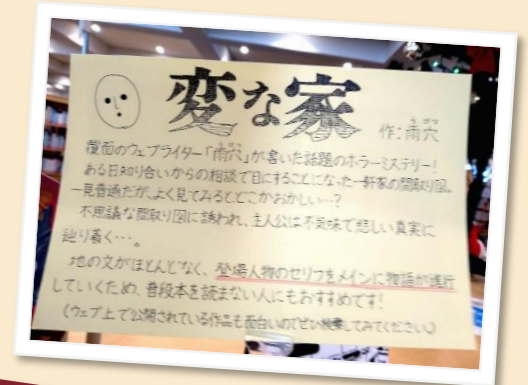
名大生の『イチオシ!』

選書ツアー参加者がPOPを作成した「選者おススメ本」の一部を紹介します。専門書、
実用書、文芸書など幅広く選んでいただき、書架が一層充実しました。

選書ツアー
Pick up

『変な家』雨穴著 飛鳥新社

★POPより★
覆面のウェブライター「雨穴(うけつ)」が
書いた話題のホラーミステリー！
ある日知り合いからの相談で目にするこ
なつた一軒家の間取り図。
一見普通だが、よく見てみるとどこかおかし
い…？
不思議な間取り図に誘われ、主人公は不気味で悲しい真実
に辿り着く…。
地の文がほとんどなく、登場人物のセリフをメインに物語が
進行していくため、普段本を読まない人にもオススメです！



『瓶詰地獄』夢野久作著、ホノジロトオジ絵 立東舎

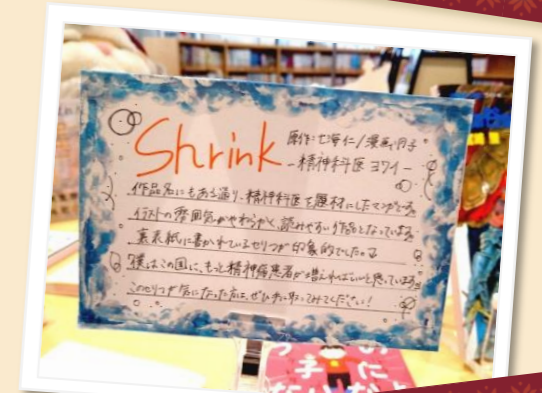
★POPより★
船が座礁し、無人島に流れ
着いた幼い兄と妹。
そこは果実も魚も肉も全て
手に入る、なんの危険もない
まるで天国のような美しい
島でした。



『Shrink -精神科医ヨワイ-』

七海仁原作、月子漫画 集英社

★POPより★
作品名にもある通り、精神科医を題材と
したマンガです。イラストの雰囲気
がやわらかく、読みやすい作品となっ
ています。
裏表紙に書かれているセリフが印象
的でした。
「僕はこの国に、もっと精神病患者
が増えればいいと思っています。」
このセリフが気になった方は、
ぜひ手に取ってみてください！



『ええかげん論』土井善晴、中島岳志著 三ツマ社

★POPより★
「ええかげん」のなかに、ええことも、
悪いこともぜんぶあるんです。その関係が
超複雑になったのが現代社会。白か黒
かはつきりせなあかんことは、コンピュー
ターに任せましょ。
人間は間違っても周りの人が補ってくれ
ます。間違ってたっていいんです。…
一生懸命の道中楽しみましょ。
(はじめにより)

